

令和6年度 コミュニティ・スクールの仕組みを生かした安全・安心で「魅力ある学校づくり」

地域密着型教育(コミュニティ・スクール推進事業)、小・中学校ジョイントスクール、魅力ある学校づくり 構想図

学校経営の視点

I [確かな学力の保証]

「わかった! できた! 身についた!」が実感できる授業づくり

II [豊かな心・健やかな体を育む指導の充実]

「いのちの教育」を基底に据えた心づくり・体づくり・人間関係づくり
(居場所づくり・絆づくり)

III [コミュニティ・スクールの仕組みを生かした地域とともにある学校づくりの推進]

学校間の連携及び家庭・地域社会との連携・協働による
地域とともにある学校づくり(地域密着型教育)

幼児期の教育～小・中学校 教育への接続・連携

子どもの発達や学びの連続性

幼保こ・小の連携の
3つの柱

安心

主体性

つながり

小中連携の
3つのキーワード

居場所づくり

授業づくり

絆づくり

◎幼保こ・小の連携の推進(小1プロブレムの解消)

- ・相互参観等を通じた教育・保育内容の理解
- ・接続期カリキュラムの共有 ※10の姿を視点として

◎小・中学校の連携の推進(中1ギャップの解消)

※不登校未然防止

- ・中学校1年生における小学校7年生の視点
- ・小学校で培った「絆づくり」(人間関係づくり)で、中学校1年生の1学期を乗り切る

全ての児童生徒にとって
「わかった! できた! 身についた!」が実感できる
「授業づくり」

主体的・対話的で深い学びの実現に向けて

- 問題解決的な学習の推進
- 特別支援教育の視点を取り入れた授業づくり

3つのキーワード (授業づくり・居場所づくり・絆づくり)

全教職員による
全ての児童生徒のための
「居場所づくり」

授業や学校行事等において…

- 児童生徒の内面理解に努め、背景にある状況を全教職員で共通理解する
- 児童生徒を教職員が「認める」「ほめる」ことにより、一人一人に自信をもたせる



全ての児童生徒同士による
「絆づくり」

授業や学校行事等において…

- 個別の支援を要する児童生徒を取り込む、違いを認め合う集団づくり
- 話し合い活動の充実
- 児童会、生徒会活動の充実 など



共に子どもを育て、共に地域を創る

学校・地域・家庭が連携・協働した
「地域とともにある学校づくり」

① 地域学校連携協議会 (学校運営協議会)

「学校の応援隊」として、
学校の課題解決に向けて話し合う

② 地域学校協働活動

地域と連携・協働した取組を推進する
(地域密着型教育コーディネーターの連絡・調整)
学習支援活動/環境整備活動/図書活動/
安全・安心活動/行事等補助/キャリア教育/
地域交流・貢献活動 等

一緒に考える・一緒に取り組む



幼保こ・小・中学校
(時間軸)

各小・中学校

学校・家庭・地域社会(空間軸)